**《短歌分科会》**短歌３首です。

●短歌分科会提出用のひな形の用紙です。以下少々説明します。

事務局側で添削／編集をせず、原稿をそのまま作品集に使用します。事前に生徒同士或いは顧問が、充分な校正をしてから提出してください。不具合は評価の際、減点の対象といたします。

　●●●までは、ひな形の書式解説及び提出前確認事項です。確認後に削除し、ファイル名には例のように2022TANKAの後に学校名を追加して提出してください。

　（例）泊夜間の場合　2022TANKAtomariyakan.docx

●作品名は例のように、カギ括弧をつけず、ＭＳゴシック（ＭＳＰゴシックは使用不可）１２ポイントを使用してください。

　作者名、学校名、学年については、略字は使わず作品名から改行後、例のように「〜〜高等学校」の高校前までの正式名称に全角の算用数字で学年を記してください。また現在設定してある書式設定（文書レイアウト）を変更しないでください。

（以下提出例です）

恋（：作品名のある場合はここにセンタリング＝中央揃えで＆）

　　　友利大悟（真和志２年）

←１マス空け

　青空に我が身を投げん白雲の思い流れることなき恋ぞ

　夜もすがら月を眺めど誰が見ん届かぬ恋と思いにければ

　長月の時雨れる思い傘もなし染みゆく恋にただ濡れそぼつ

（次の提出者との間は二行空け）

玉城斗蒔海（那覇商業１年）

　秋風や空を吹きぬけひゅうひゅうと夕闇包むつるべおとし

　闇空の光る満月眺めては憂いが満ちて思い耽る

　枯れ葉落ちかさかさ空に舞い散って風になびいて音立て朽ちる

★疑問点は県総文祭担当　島袋（泊高校）にお問い合わせください。電話（０９８・８６８・１２３７）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　メールshmbkrky@open.ed.jp

ここまで削除してこの次のページから提出してください●●●